

2011年12月度の総括

進学塾ビッグバン

12月3日をもって、レギュラー授業全過程が終了しました。しかし、4日の第4回保護者会をはさんで間髪をいれず後期プレイバック講座、そして冬期講習会に突入しました。ここからは、年末年始の3日間を除いて、ほとんど休みなく1月中旬まで大学別直前対策講座が続きます。年末年始の3日間も個別指導講座のために校舎は開放しており、ほとんどのビッグバン生は帰省することもなく、朝から晩まで志望校合格のために戦い続けます。

今年の生徒は、4月5月の頃のテンションが秋ごろに失速し、12月になってやや盛り返した感がありました。これが入試にどう反映するかです。心配の種は尽きません。

今年も内外で多くの事件が起こりました。私たちを取り巻く環境も微妙に変化してきました。2012年度生募集のためのパンフレットの冒頭に私は以下のように書きました。

平和時にあっては、医学部合格は「締め切りのない」「個人の自己実現」の達成だとうそぶくことができたかもしれません。しかし、この未曾有の国難の時期を迎え、皆様の医学部合格は格別の、また否応なしの「公的な」意味を持ち始めています。

医学部受験生の皆さん。皆さんの使命は「個人の自己実現」だけではもはやないのです。一刻も早く、皆さん自身が医師としての資格と高い能力を身につけ、それを広く日本や世界に、とりわけ「社会的弱者の方々に還元」して行かなければなりません。

恒例になりました、あくまで私的の、今年の10大ニュースを発表します。

1位・東北大震災で死者、行方不明者多数・原発事故に伴う風評と節電ブーム

下にあえて冷やかに数字的データを示しておきます。もはや私の口から原発事故や、それに伴う風評、節電ブームについて語るものではありません。

今月28日に、チャンネル桜に出演した折に、参加された評論家の高山正之氏や日下公人氏らは口をそろえて、来年は、これほどの大震災に見舞われてなお倒れなかった日本と、精神的に強く優しくあり続けた被災者の方々を世界中が見習い、あらゆる意味で日本を中心とした世界が再構築される、と述べられました。

私もまたそれを信じたいと思います。とりわけ進学塾ビッグバンに集う若い人たちに、世界に注視されながら世界を領導する力量をつけてもらいたいと切に願います。

人的被害

(12月22日時点)^[2]

合計	15,843	3,469	5,890	25,202
北海道	1	-	3	4
青森県	3	1	61	65
岩手県	4,666	1,371	188	6,238
宮城県	9,506	1,875	4,013	15,398
秋田県	-	-	12	12
山形県	2	-	29	31
福島県	1,605	219	181	2,007
茨城県	24	1	707	732
栃木県	4	-	132	136
群馬県	1	-	38	39
埼玉県	-	-	42	42
千葉県	20	2	251	273
東京都	7	-	90	97
神奈川県	4	-	131	135
新潟県	-	-	3	3
山梨県	-	-	2	2
長野県	-	-	1	1
静岡県	-	-	4	4
三重県	-	-	1	1
高知県	-	-	1	1

2位．ビッグバン医学部医学科&文 合格率65%、その他難関大学併せて82,5%達成

無選抜でこの数字は、やはり8:40~22:00拘束状態にし、年間2700時間、大手の3倍の強制勉強時間、同一単元を3回繰り返すシステム、徹底管理された学習環境のもと、それに呼応してよく頑張ってくれた優秀なる講師陣と、それを受けた生徒諸君、そしてそれを支えてくれた保護者の方々の努力のたまものです。

来期は、茨木本校に続いて大阪上本町校、東京お茶の水校にも医歯薬ロジスティクス

コースを開講し、さらなる発展を遂げて行きたいと考えます。

未曾有の国難に際し、良医を育て、経済の活発化にいくばくなくとも貢献することができることが私たちの願いです。

3位．野田民主党政権誕生と、大阪での橋下維新の会躍進

憲政史上最悪と言われた鳩山由紀夫内閣、菅直人内閣という民主党内閣の跡を襲って誕生した野田ドジョウ内閣。おそらく民主党最後の首相になるであろう野田佳彦氏は、小沢、仙谷、輿石という三悪奉行につつかれながら、茶番でしかなかった民主党劇場の幕引きの役割を演じることでしょう。在職中に野田氏がどこまで先輩の失態を修復するかはまだわかりませんが、後世の歴史家は、おそらく「わが国憲政史上始まって以来のバカ内閣の残務整理をした内閣」という評価を下すでしょう。

一方、橋下元大阪府知事が大阪維新の会を作り、大阪都構想をぶち上げて大阪府と市を合体させることをうたい、府市同日選挙で圧勝しました。公務員改革と教育改革、そして財政立て直しを柱にしていますが、さあ、どうなるか、です。

28日のチャンネル桜討論会で参加したある政界に通じたメンバーによると、都知事の石原慎太郎氏がとにかく橋下徹氏のことが生理的に「好き」なんだそうです。作家らしいワガママと独断を先行させる石原慎太郎らしいといえますが、生理的に「好き」とは何だろう、という話になりました。私は、二人とも笑顔が演出できる能力がある、と答えました。ここぞという時にニコッと笑うそのタイミングと、破顔一笑という言葉がふさわしい普段と違う、非日常的空間を演出できるのです。これはビジュアル時代にまさにうってつけのありようです。大阪の若い政治家に期待したいと思います。

4位．カダフィ処刑もありのアラブの春から金正日の豚死まで独裁者の終焉

チュニジア、エジプトのツイッターでの呼びかけから始まった「アラブの春」と呼ばれる、これまで閉鎖されているイメージが先行しがちだったアラブ世界での民衆の反乱がここへきて一気に爆発したのです。

1． 政権が打倒された国

チュニジア、エジプト、リビア、イエメン

2． デモにより何らかの結実がみられる国

アルジェリア、サウジアラビア、ヨルダン、モロッコ、クウェート、イエメン

3． 大規模なデモに発展、デモが継続中の国

シリア

4． 小規模なデモにとどまる。もしくは政権側により制圧された国

オマーン、バーレーン、イラク、モーリタニア、スーダン、ソマリア、ジブチ

5 . アラブ以外で、アラブの春に影響を受けて類似した活動を展開した国

中国、アメリカ、イスラエル、ロシア、アルバニア、イラン

あの「狂犬」とまで呼ばれ、恐れられたリビアの独裁者、カダフィ中佐が、若い兵士になぶり殺しにされたシーンは今でも私たちの脳裏に焼き付いています。私たち部外者も、独裁者の死に不思議に明るい「希望」を見出した思いでした。その「死」に希望を見出されるような生き様をもつ人生というものも、情けない限りだな、と、私たちは、極東の小国の独裁者を思っていたまさにその年の暮に、その独裁者も、死にました。病死といわれています。おそらく世界のどの地域の人々にとっても暮の忙しいときに、こいつは死ぬときまではた迷惑な死に方だな、と、喜びも半減といった死にかたでした。殺人、拉致、拷問、麻薬売買、核実験など、およそ人間がなせるありとあらゆる悪の限りを尽くして死んだこの男には、「豚死」という名がふさわしいでしょう。スターリン、ポルポト、毛沢東といった名うての虐殺者が、とりあえず世襲制だけは排除した、言ってみれば、地獄の血の池で悶えていた「かんだた」に降りてきた一本の蜘蛛の糸に当たるものが、その世襲制排除だったのですが、金正日だけは、一本の蜘蛛の糸すら降りてこない、最悪中の最悪の独裁者だったと言えます。

何とか拉致被害者だけは奪還したい。北朝鮮という汚物にまみれた金一族の私有地がどうなってもかまわないが、日本人の尊い命と人生だけは何とか救いださないといけない。これが私たちの偽らざる願いです。奪還のために必要なら、核武装も辞さない覚悟でなければならぬ、そのように考えます。

5 位 . 今年 9 月、フェイスブック世界最大 8 億人の SNS (交流サイト)となる。

2004 年にアメリカの学生によってサービス開始。2008 年に Twitter と提携。2010 年にサイトのアクセス数が Google を抜く。・・・ここ数年のうちに起こった IT の革命的事件です。これが一つのきっかけで「アラブの春」が呼び込まれたり、中国が国策としてのハッカーを養成して日本を含めた周囲の国々に嫌がらせをしたり、北朝鮮では、必死になって国民が情報通になったり賢くなったりするのを抑え込んだり、これまで悪さをしまってきた、それを自覚している独裁者どもが慌てふためいている様を見ると、人間の自由を求める希求は決して抑えることができない、やがて独裁者どもは滅びる運命にあるということを知ります。

一方で、米アップル創業者のスティーブジョブズが 56 歳の若さで亡くなりました。ベンチャーを目指す若者にとっては「神」ただだけに、私の周りにも、その死を悼む人は大勢います。彼の業績を描いた書物も売れ行きが好調のようです。それに比べ、北朝鮮の豚死した独裁者が後継者によって、偽りの涙を強制させられる「国葬」がどうにも滑稽に見えてなりません。豚死男を描いた作品は、テリー伊藤：著の「お笑い北朝鮮」など、枚挙にいとまがありませんが、どれもあざけりの笑いと人として鬼畜にも劣る所業への怒りな

しに読むことはできません。

6位．欧州危機・ユーロ下落・円高など世界経済の失速

ドイツが、「我々はギリシャの財布ではない」といって、ユーロ圏からの脱退をほのめかした、という話もあります。イタリアやギリシャがスウェーデンやフィンランドのような福祉国家を目指して財政破綻しかけたのを見ると、なんだか大阪を見ているような気がします。大阪は、生活保護家庭がやたら多いのですが、本当に生活保護をしなきゃならないのか、という疑問だらけの家庭もあります。昼間からパチンコ屋に通い、無税の収入を得ている人たちや、生活保護ではありませんが、「うつ」の診断書をもらうだけで、3年間合法的に休んでも収入を得られる学校の教員とかは大阪にやたら目立ちます。働く者が馬鹿を見る、ということだけは避けたいものです。民主党が例の偽りのマニフェストで、高速道路、日曜休日無償化をうたいましたが、あれも、働く人々を蔑ろにして、レジャーに出かける人々に手厚くという本末転倒ぶりを発揮していますし、外国人にも参政権を与えよなどと、正気の沙汰とは思えない頓珍漢ぶりを示しています。ドイツが、もう一度「ベルリンの壁」を作りたい、というのわかる気がします。弱者保護をうたう福祉国家もいいですが、行き過ぎると働く者が馬鹿を見ます。

怖いですよ。円高は。TPPが、アメリカのみを利して、日本の世界に誇る医療制度も含めたすべての制度がめっちゃめっちゃになる日も近づいています。もし時間に余裕があれば、団塊ジュニア世代の旗手：中野剛志氏の著作に触れてください。真の愛国者としてなかなか鋭い、端倪すべからざる発言をしている人物です。

7位．中国が空母建造、なりふり構わぬ軍拡へ。韓国従軍慰安婦(?)像建設の嫌がらせ。

これができるまでは海軍は日本の方が強かったんですよ、空母ができるまでは。正確に言えば、ロシアから中古の空母を買い上げて改良したものですが。しかし、このぶんで行くと中国は2020年までには空母を10隻以上造ると言われています。世界の海に君臨しようという腹です。すでに南シナ海は中国が制圧しています。放っておいたら、中国は日本からのODNでどんどん軍拡していますし、韓国は、日本の左翼勢力＝不良韓国朝鮮人や土下座外交を是とする日本人バツと称される連中の力を借りて、ありもしない従軍慰安婦の像をソウルの日本領事館の前に立てようとしています。前の金大中や、ノムヒョンに比べ、もう少しましかな、と思えた大統領：李明博も、しょせんは単なるヘタレの反日政治家に過ぎなかったことを如実に示しています。圧倒的な人材不足と、民度の低さですね、韓国の政界も。歴史を正しく把握できないふざけた連中には、再教育の必要を感じます。

8位・京大でカンニング事件

これは日経メディカルオンラインでも書きましたが、京大をはじめ、教授と呼ばれるおじいちゃん連中が、たかが受験生以下のIT認識しかなかったことを示した事件でした。カンニングの方法も昔に比べ格段に進化しています。実際今回たまたま東北の純朴な若者による稚拙な方法だったために、彼は捕まる羽目になったのですが、これまで、この種のカンニングでまんまと見つからずに成功した受験生はいたのでは、というのが、まわりの若者たちの意見です。もちろん、今度からは、試験官の方も厳しい方針で臨むでしょうが、ぜひそうしてほしいのは、若者にモラルを求めるのは、おとなの「逃げ」だと受け止めて、おとなの方も真剣に選抜業務に励んでもらいたい、と思うからです。

9位・島田紳介、暴力団とのつながりで引責引退

タレント島田紳介が、暴力団とのつながりで引責し、芸能界を引退するという声明を発表しました。関西人は、暴力団とのつながりとか、どこそこの生まれだとかいうことをあまり気にしない人種です。例を挙げれば、橋本徹元大阪府知事の出自がどうのこうのと週刊誌に叩かれても、得票に影響させることはできなかったことからわかります。むしろ、島田紳介が許せないと関西人が思うのは、かつて、勝谷誠彦のマネージャーの女性に暴力を振るい、つばを吐きかけたという、強いものにはぺこぺこ、弱いものには強圧、というヘタレぶりを示したことです。東京と関西の認識の違いかもしれません。何度も言いますが、関西はあまり差別をしない地域です。あくまで正味・本音が通る世界です。私が関西が好きなのは、その点です。

10位・九州新幹線開通

数少ない明るいニュースです。新大阪駅から鹿児島中央駅まで4時間弱。信じられないくらいのスピードになりました。日本の技術力と、それを支える寡黙なエンジニアたちに幸あれ、と願うばかりです。九州新幹線の成功を通じ、東京のスカイツリー完成と相まって、日本が素晴らしい国だ、素晴らしい人たちにあふれている国だ、という思いを共通認識とすることができることをかみしめて、年を越したいと思います。

それではこの代表総括もいったん終了します。

皆さん、合格目指して頑張ってください。よいお年を！

追記：松原の討論会参加番組は、平成23年12月31日20:00~23:00 日本文化チャンネル桜（スカパー！217チャンネル）か、インターネット放送So-TV(<http://www.so-tv.jp/>)

YouTube オフィシャルサイトか、ニコニコチャンネル 132 チャンネルで見られます。

出演者は、一色正春（元海上保安官）、潮匡人（評論家）、日下公人（評論家）、高山正之（ジャーナリスト）、中野剛志（京都大学準教授）、増元照明（北朝鮮による拉致被害者家族会・事務局長）、松原好之（作家・神奈川歯科大学客員教授・進学塾ビッグバン主宰者）、山村明義（作家・神道研究家）です。

平成 23 年 12 月 31 日

進学塾ビッグバン 松原好之（文責）